

坪沼小学校跡施設の利活用に関するサウンディング型市場調査 結果概要

1. 実施概要

仙台市では、学区内児童数の減少に伴い、平成27（2015）年3月に他の小学校と統合したため閉校となった坪沼小学校の跡施設について、地域の方々とともに、利活用の検討を行っています。

跡施設は、竣工からの経過年数が比較的浅く、引き続き使用可能な状態にあり、資産の有効活用が期待されることから、民間活力の導入により利活用を図りたいと考えています。

事業の実施にあたり、民間事業者等のニーズや事業の実現可能性、利活用のアイデア等を把握し、今後の事業展開に活かすため、サウンディング型市場調査を実施しました。

調査期間	令和3年5月31日～6月4日
参加者数	5者 ※グループの場合、1者とみなす
主な調査内容	(1) 跡施設で想定される利活用の内容 (2) 募集要件等に関する意見 (3) 公募の実施時期に関する意見

2. 調査結果概要

(1) 跡施設で想定される利活用の内容

- 利活用の内容について、各事業者の強みや実績を活かした事業内容の提案がありました。
- 教育用途、スポーツ用途等の提案がありました。
- 複数の事業者・団体での利活用を想定している提案がありました。
- 坪沼地区の豊かな自然環境を活用する提案がありました。
- 事業の具体的な運営について、今後提示される賃料をもとに計画するという意見がありました。

(2) 募集要件等に関する意見

- 契約期間について、10年超の希望や、短期（5年程度）の希望等、柔軟な対応を求める意見がありました。
- 貸付対象範囲について、対象範囲全体を希望する意見と一部のみを希望する意見がありました。
- 賃料については、なるべく低くして欲しいという意見がありました。
- 地域要望への配慮について、積極的に地域と連携したいという意見が多くありました。

(3) 公募の実施時期に関する意見

- 速やかに公募を実施する場合にも、前向きに応募を検討している参加者が複数ありました。
- 実際の事業の開始時期については、事業者選定後すぐに始めたいという意見と、一定の準備期間後に始めたいという意見がありました。